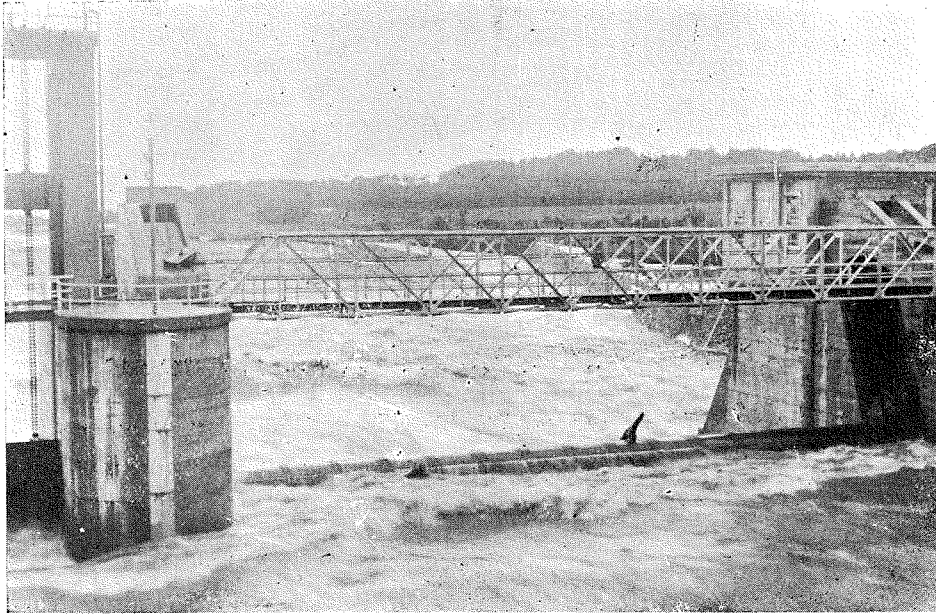


# 黒部川愛本橋附近大出水状況

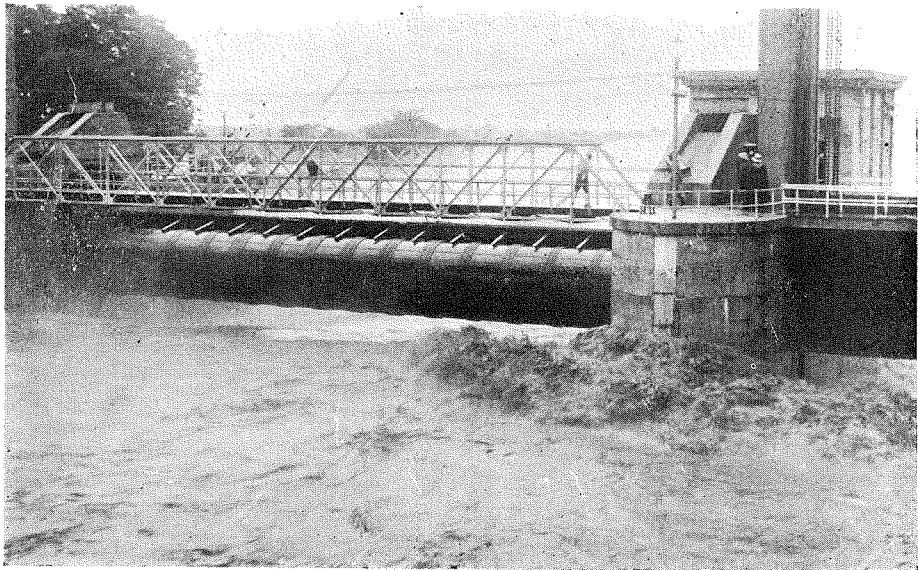
去る七月十一、二日の兩日北陸地方を襲つた大出水の爲に堤防及道路の缺潰、橋梁家屋

の倒壊流失、耕地の流失等夥しき數に昇り、水地獄風景物凄く、多數の死傷者を出して酸



(1) 合口用水堰堤・ローリングゲートを約一米半揚げた時。

(2) 同じく、ローリングゲートを全部揚げた時。

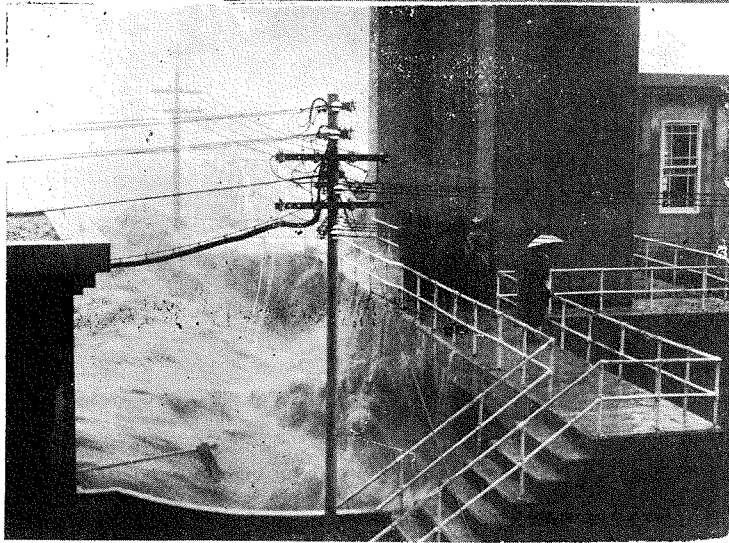
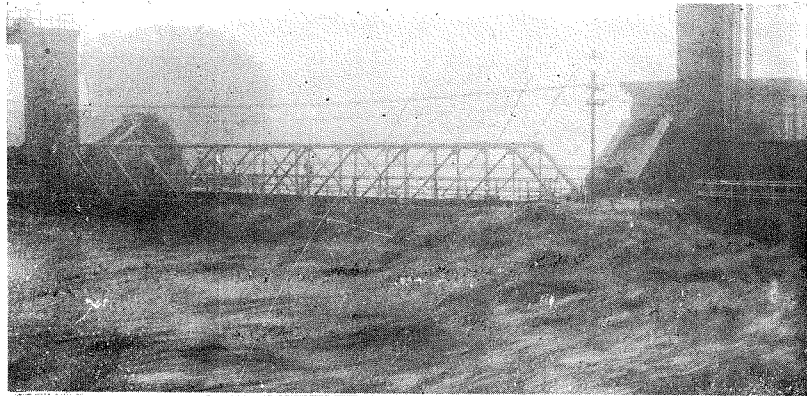


鼻を極めた件は前號に報道した處である。

富山縣下の庄川、常願寺川、黒部川等の各水力發電所は何れも皆多少の損害を被つて居り、本年起工せる黒部川流域の日本電力鐘釣發電所、富山縣營愛本發電所（本誌八月號參照）は目下準備工事中であるが、何れも多少の被害があつた。

愛本發電所(工事中)下部愛本橋に取入口を有する黒部川合口用水及黒部川電力は堰堤本體には異狀がなかつたが、左右兩岸にある用水路は約150米の間缺潰した。茲に掲げた寫眞は何れも、實際の出水の狀況を富山縣電氣局寫眞掛の大浦康義氏が、折からの降雨と飛沫に全身濡鼠となつて苦心の結果、漸く霧の

(3) 出水最高に達せる時の合口用水堰堤。



(4) 同じく側面より望む。

(5) 愛本橋附近の出水狀況。



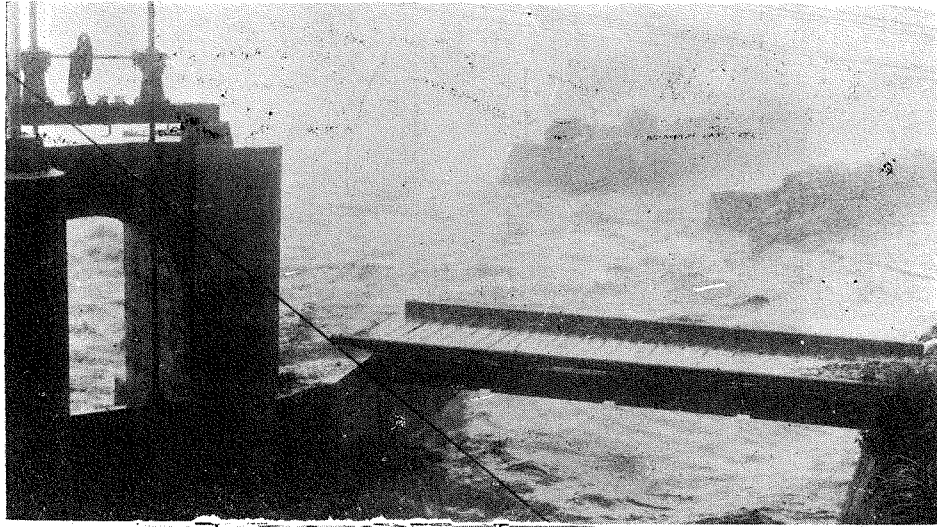
晴間を掴み撮影したものである。

このローリングゲートの径間は24米で、直径3米、河底より橋梁下部まで9米5で、今までの最大洪水量70,000個に10,000個の余裕を見込み80,000個として設計されたものであるが、今回の洪水は實に120,000個に達した。然し水路が缺潰しただけで、幸ひ堰堤本体は

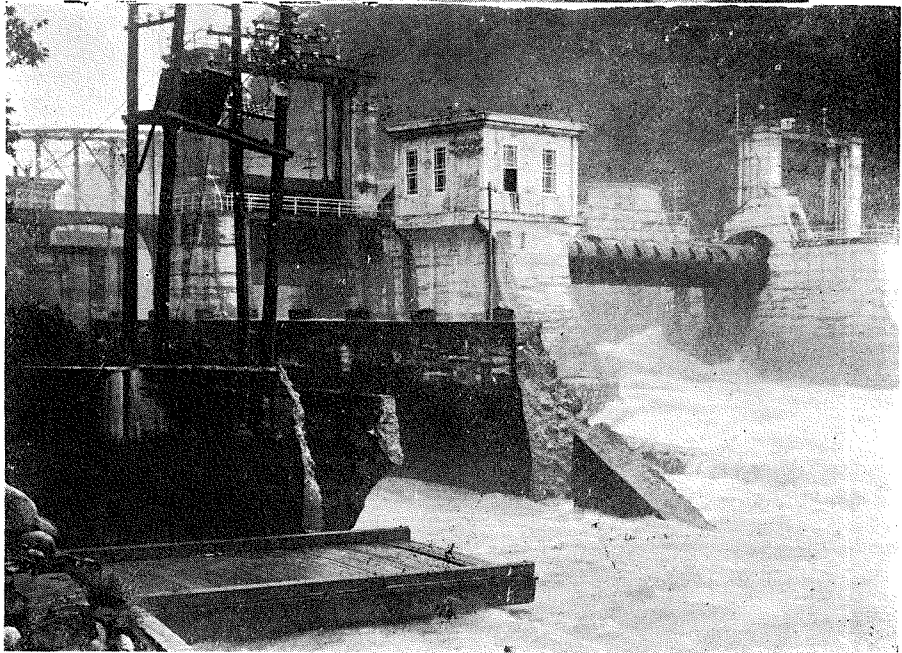
安全であつた。

斯く出水量が豫想外に多かつたのは、昨年冬期の降雨量が多かつたのも其原因の一つと考へられる。

— 小山田生 —



(6) 用水路缺潰の状況。



(7) 同じく減水しつつある景。